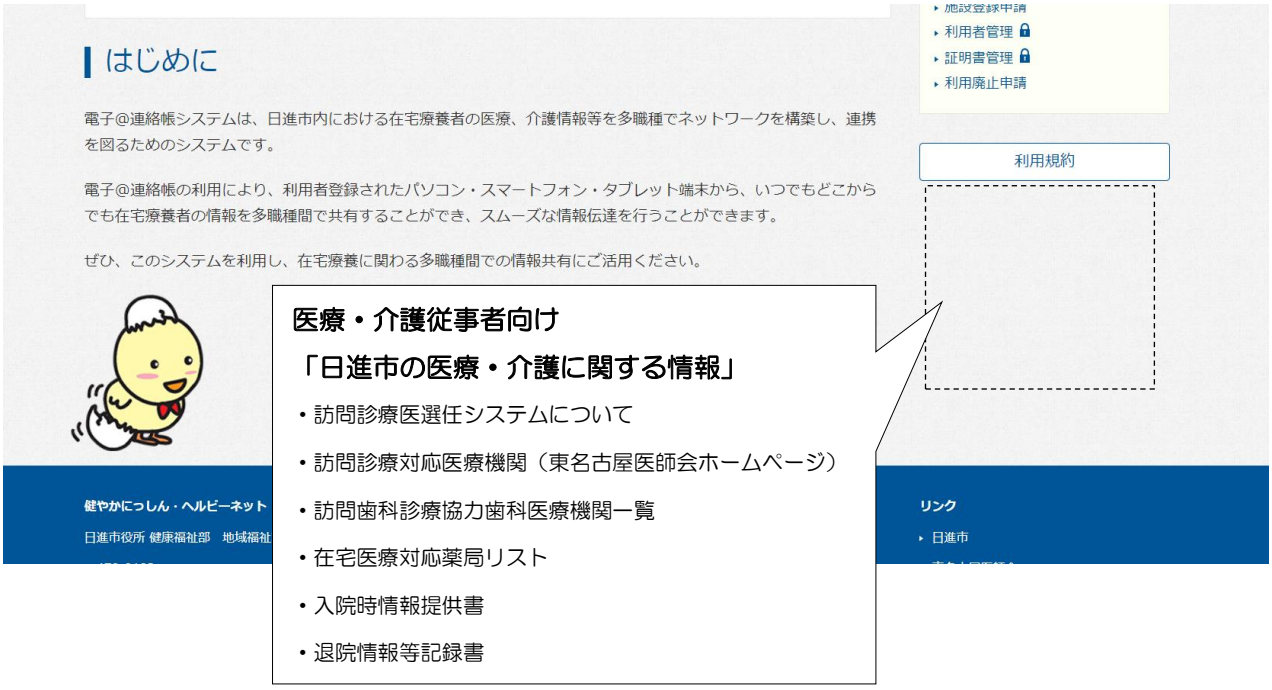
資料２

令和元年度　日進市在宅医療介護連携支援センター（やまびこ日進）　業務報告書

（ア）地域の医療・介護サービス資源の把握

平成 30 年度に実施したアンケート調査（「在宅医療・介護連携に関する調査票」）の結果から、地域の医療・介護従事者が必要としている情報を抽出。資料（ア）①
各専門職や団体が作成した情報を集約し、電子連絡帳ポータルサイト上に「医療・介護に関する情報」として掲載。今後定期的に情報更新をしていく予定。
〈イメージ図〉※現在 IIJ へ依頼中



（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

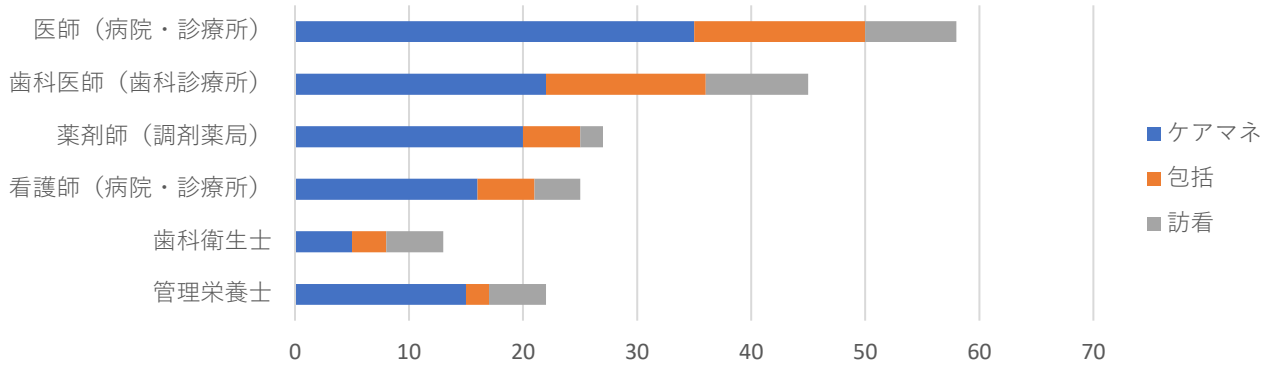
平成 30 年度に実施したアンケート調査（「在宅医療・介護連携に関する調査票」）の結果から、医療介護の連携の場において、医師との連携が一番と取りにくいことがわかった。まずは医師とケアマネとに連携に焦点をあて、直接顔をあわせて気軽な意見交換ができる「場」を作ると取り組みを始めました。

井戸端会議の目的として

- 顔の見える関係作りのため
- 気軽な意見交換から、実際の連携状況や認識の違い、課題などを共有するため
- 現場の意見を上げてもらう事でより良い連携の在り方、体制を作るヒントを作るため

・連携が取りにくいと感じている事業所、職種

（回答：ケアマネジャー・包括ケアマネジャー・訪問看護師　　単位：回答件数）



取り組み実績　資料（ウ）①

・第一回やまびこ日進井戸端会議

日　時：令和元年７月31日（水）

参加者：医師４名・ケアマネ５名　　合計９名

テーマ：「主治医への相談・確認の内容や情報共有の仕方について」

・第二回やまびこ日進井戸端会議

日　時：令和元年９月11日（水）

参加者：医師５名・ケアマネ５名・

訪問看護ステーション看護師２名・病棟看護師１名・MSW1名　合計14名

テーマ：「『看取り』場面での連携について」

・第三回やまびこ日進井戸端会議

日　時：令和元年11月19日（火）

参加者：医師５名・ケアマネ６名・病棟看護師１名・MSW1名　合計13名

テーマ：「入退院時の病棟主治医との連携・在宅主治医との連携」

・第四回やまびこ日進井戸端会議

日　時：令和２年１月29日（水）

参加者：医師４名・ケアマネ４名・病院看護師１名　　合計９名

テーマ：「先生が求めるケアマネ像とは？」

・第五回やまびこ日進井戸端会議

日　時：令和２年３月

テーマ：「アルコール依存症のケースを通して、多職種連携について意見交換」

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

開催毎に参加する医師、ケアマネが中心となりテーマの決定、話題提供をしていただいた。結果、「在宅医療・介護連携に関する調査票」に知りたい内容として意見があがっていた内容に沿った会となった。

資料（ウ）②

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

昨年度、電子連絡帳の登録者数増加を目標に利用施設の対象を拡大。今年度は電子連絡帳の地域資源マップの充実、電子連絡帳の利用促進に向けた活動をおこなった。

→登録施設の住所、連絡先を登録し電子連絡帳上の「地域資源マップ」の充実をはかった。
また、電子連絡帳の利用促進を目標に利用状況をまとめ資料（エ）①、ここ数カ月、新規患者登録件数が０件であること、患者記事数も月数件であることから、患者タブが活用されていない事に注目。（昨年度の調査結果で「使い方が分からない」「誰が患者登録するのかわかりいくい」「患者への同意、説明が難しい」との意見があった）

より登録施設が使いやすいように電子連絡帳の利用手引きをやまびこ日進運営協議会委員と作成。各職種の視点から電子連絡帳の使い方について案をいただき日進市独自のものを作成。資料（エ）②

電子連絡帳ポータルサイト上に手引きを掲載し、今後は連絡会などで説明、配布を予定している。手引き内容については定期的な見直しを予定している。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援　資料（オ）①

・訪問診療医についての問い合わせ・・・１０件
・訪問歯科診療についての問い合わせ・・５件
・栄養ケアについての問い合わせ・・・・４件
・その他相談、問い合わせ件数・・・・・１８件

訪問診療医について、眼科、皮膚科の訪問医を希望されるケースが多く、現在日進市に該当する医師がいない。近隣の長久手や名古屋市をご紹介しているが、定期訪問を希望されるなど条件が合わず紹介に至っていない。また、輸血患者の在宅対応など日進市の資源だけでは対応が難しいケースもみられた。

訪問歯科診療については、研修会で案内をした口腔ケアシートを使って訪問医依頼をされるケースがあり、昨年度よりも問い合わせ件数が増えている。

その他については、やまびこ事業に関する問い合わせや、各団体より事業協力の依頼（歯科医師会から研修会の相談、名古屋記念病院から地域緩和ケア周知など）等をいただく事が今年度は多くあった。

（カ）医療・介護関係者の研修　　資料（カ）①

昨年度の調査で医師に続き、歯科医師についても「連携が取りにくい職種」とされていた。今年度は愛豊歯科医師会日進支部と共催で多職種向けに口腔ケアに関する研修会を開催。グループワークでは各グループに歯科医師、歯科衛生士を配置し顔をあわせて質疑応答する場を設置。資料（カ）①－1

アンケートでは今までにこういった機会がなく直接歯科医師と交流をもつことができたと喜ばれた。資料（カ）①－2今後定期的な開催に向けて歯科医師会と調整を行っている。

・第一回　歯科医師との多職種研修会

日時：令和元年 11 月 14 日（木）　　日進市中央福祉センター2 階多機能室

内容：講義「口腔ケアを再確認してみましょう」

グループワーク「歯科との連携について」

参加者：　31 名　　歯科医師４名・歯科衛生士１名・ケアマネ６名・地域包括支援センター職員９名・ヘルパー2 名・施設介護職員５名・訪問看護師１名・その他３名

（キ）地域住民への普及啓発

日進市健康の保持増進に努めた高齢者表彰事業（保険年金課）・介護予防講演会(地域福祉課)と合同開催。昨年度開催した医療・介護の出展ブースイベントが来場者・ブース出展者ともに好評であったこと、また来場者アンケートで「介護予防、健康づくりに関するイベント」の関心が高い結果となったことから、市の講演会後に展示ホールにて「からだ測定会」を開催した。資料（キ）①

健康づくりに関する講演会を聞いた後に、実際に自分のからだを測定することで、参加者の健康意識の増進や地域資源の周知を行う。また、イベントを通じて参加協力された医療介護従事者同士の交流を図るネットワークづくりも目的としている。

エーザイ株式会社「嗅覚認識テスト」　全体結果資料（キ）①-1

スギ薬局「足腰年齢２ステップ測定」　全体結果資料（キ）①-2

・市民向けイベント（介護予防講演会/カラダ年齢測定会）

日時：令和元年９月29日（日）

場所：日進市民会館

愛知学芸大学、エーザイ株式会社、スギ薬局、キョーワ薬局にご協力をいただき

測定会を開催。延べ 260 人が測定されました。

・「在宅医療」に関する普及啓発　資料（キ）②

市内の民生委員に向けて「在宅医療」に関するお話をさせていただきました

場所：日進市中央福祉センター2Ｆ多機能室

日時：令和元年８月13日　　約50名　中部包括支援センター地区

令和元年８月14日　　約40名　西部包括支援センター地区

令和２年２月14日　　約30名　東部包括支援センター地区

（ク）在宅医療・介護連携に関する他市町との連携　　資料（ク）①

東郷町、豊明市、長久手市など広域会議に参加、また東名医総研やまびこ、やまびこ長久手と連携協働し、情報共有、情報交換することで日進市の医療介護の改題の改善へ活かしていく。

・４月22日　第一回在宅療養支援医療機関連携委員会
・６月10日　第一回在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会
・10月７日　第二回在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会
・２月３日　　第三回在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会
・１０月28日　第一回在宅療養支援医療機関連携委員会